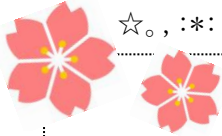




# みらいっうしん

4月号

2018年4月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 長南 康子



☆, \*:★, \*:° ☆, \*:° ☆, \*:° ☆, \*:★, \*:°



## 入園・進級おめでとうございます

明るい日差しが降り注ぎ、春らんまんのよい季節となりました。

入園・進級、おめでとうございます。

61名の新入園児を迎え、総数217名の園児がみらいこども園で乳幼児期の生活を送ります。

本園では、開園以来積み重ねてきた子どもの遊びが学習であるという教育観により子ども達の主体性を大事にしながら、一人一人に備わっている資質・能力を育てています。本年度も一人一人のお子さんの心情に寄り添い、その変容に目を向けながら、就学前までの教育・保育を行ってまいります。

さて、先に行われました冬季オリンピックでは日本選手の活躍がたくさん見られました。インタビューを受けるメダリストが皆同じように「皆様の声援が大きな力になった」「これまで支えてくれた方々に感謝したい」と話していました。選手達が発した言葉は、心からの思いとして伝わってきました。どんなに苦しい練習を重ねてきたとしても、最後の踏ん張りは、周りからの声援が大きな力になり、また、目標に到達できたのは、決して自分一人だけの力ではなく、多くの人に支えられてきたからこそ今があるという感謝の言葉は素直な心の表れなのだと感じました。

子ども達や周りの人達に否定ではなく、心から肯定する気持ちで接し、目には見えないパワーを送り続けることの大切さも考えました。

私共も、子ども達の成長を支えるために、チーム力を発揮し、精一杯、努力する覚悟でおります。本園に対する皆様方からの心からの応援が更なる力になると思っています。

本年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新たな保育室・遊具との出会いに  
心躍らせ、夢中になって遊んでいる子ども  
達の姿があります。見守ってくれる大人のそばで  
あるいは、気の合う友達と一緒に過ごすことで、不安  
も吹き飛んでいるようです。

先日、本園の2期生が中学校の制服を着て、入学の報告に  
来てくれました。自信に満ち、成長した姿に自己肯定感が育ま  
れている！という印象を受けました。6年越しに『みらいこ  
ども園に行こう』と思ってくれたことが嬉しくてなりません  
でした。本園で出会う全ての子ども達・保護者方々にとって  
居心地の良い場所となるような園作りに努めて参りたい  
と思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

副園長 中城真由美

登園してきた子どもに「おはよう！」  
と声をかけると、黙って手を差し出してきま  
した。何かを大切に握っています。

そっと見せてもらおうと小さなさくらんぼの実が  
ふたつ、かわいい掌にのっていました。思わず顔を見  
合わせてにっこり。小さな発見を喜び合う幸せを感じ  
ました。日々の何気ない発見を大切に、一日一日を  
過ごしていきたいと思います。

主幹保育教諭 柳鶴聡美

入園間もない0歳児クラスの子  
どもが、じっと保育者の顔を見ている。保育  
者もそれに応えるように、柔らかな表情で見つめ  
ています。その時間は、とても優しく流れているよう  
に見えました。入園、進級して緊張する姿もありま  
すが、一人一人の子どもの目に映るものが温かなもの  
であるように、日々の生活を過ごしていきたいと思  
います。

主観保育教諭 三ツ橋知子

